

調査・研究

○ 標準災害シナリオの追加

平成26年度に作成した標準災害シナリオに加え、過去の災害事例を参考に新たな標準災害シナリオを作成する。

(参考1)

・平成26年度に作成した標準災害シナリオ

- 地震により津波が発生し、屋外貯蔵タンクの全面火災にまで発展するもの。
- 製造プラントにて爆発火災が発生し、付近住民にまで被害が拡大するもの。

(参考2)

・新たな標準災害シナリオ作成に参考となる災害事例の例

- ①昭和39年新潟地震 → 地震の長周期振動によりタンクの浮き屋根が揺動し、5基のタンクで全面火災が発生した。これとは別に、地震による液状化から噴出した地下水や津波により浸水しているところに、タンクの破損により漏出したガソリンが防油堤の破損箇所から流出し広がり、着火。広範囲に延焼した。
- ②平成15年十勝沖地震 → 地震の長周期振動により屋外貯蔵タンクの火災が苫小牧で2基、浮き屋根や浮き蓋の沈没被害が苫小牧で8基、石狩北部で1基に発生した。

*現在は、耐震基準が強化されているため、同様の被害が発生する可能性は極めて低いですが、あくまでも訓練のための災害想定として活用。

○ 図上訓練のマニュアルの作成

防災本部の機能強化を目的とした図上訓練のマニュアルを作成する。



防災本部を担う道府県に実践的な訓練を行うことを強く促す

防災本部への技術支援等

○ 防災本部が行う防災訓練に対する技術支援

(訓練シナリオ作成・防災訓練の実施)

平成26年度実施 道府県

三重県

北海道

山口県



- 平成26年に作成した標準災害シナリオの検証
- 防災訓練に対する評価の実施

平成27年度実施 3道府県予定

大分県

愛知県

神奈川県

